

コーティング・コンソーシアムの活動報告

コーティング・コンソーシアム（略称：CoCo）は、（一社）日本塗料工業会、日本塗装機械工業会、（一社）国際工業塗装高度化推進会議により設立された新たなプロジェクトです。このCoCoが設立された経緯と、今回手始めに取り組んだ「CO₂排出量の意識調査アンケート」についてご紹介します。

工業塗装を取り巻く情勢は、従来からの環境問題や少子高齢化問題に加え、SDGsや脱炭素をターゲットとしたカーボンニュートラル推進、IoT・DX化が求められています。また、中小企業の後継者問題は工業塗装にとっても重要な問題であり、次世代への継承のため工業塗装の価値を再認識し伝えていかなければなりません。これらの諸問題は、工業塗装企業だけで取り組むのではなく、塗料メーカー・塗装機器設備メーカーとの連携、専門家・有識者・学術関係者などの協力も必要であると考えます。この繋がりを強固にして、さらなる科学技術の進展により、工業塗装が社会貢献度の高い存在となるために、CoCoは設立されました。

◆理念と目的

『サステナブル社会に向けた塗料・塗装業界の先進的な取組み』を理念とし、目的は以下の3点にまとめています。

- ①塗料・塗装による価値を発信するため、業界の繋がりを図る。
- ②業界外には認知の向上を、業界内には自信と誇りを醸成する。
- ③行政を含む窓口となるべく、先進事業に取り組む。

◆事業への取組み

現段階では、以下4点を課題として着手しています。

- ①塗料・塗装が社会に貢献している姿を発信する。
→各団体の会員から事例を収集し共有する。
- ②一例として、橋梁など社会資本を支えている防食塗料・塗装が、CO₂削減に貢献していることを実績として示す。→改めて行政・ユーザーへアピールする。
- ③「つくる～ぬる」のLCA算出モデルを作成する。
- ④さらに、塗料・塗装業界としてベクトルを合わせ、カーボンニュートラルへの業界宣言を発せられるように取り組む。

上記課題のうち③、④に取り組むにあたって、現時点でCO₂排出に関して工業塗装業界のみなさまがどのくらい取り組まれているのか、意識されているのかを知り、適切な課題解決に役立てようとの意図からアンケートを実施しました。

◆CO₂排出量の意識調査アンケート

アンケート実施に先立ち、工業塗装におけるCO₂排出源の排出係数を算出しました。日本塗料工業会で、代表的な工業塗料11種類のCO₂排出係数を算定しました。次に工業塗装の塗装プロセスでの熱源となる電

気・ガスのCO₂排出係数、前処理や廃棄物のCO₂排出係数を調査しました。電気・ガスは地域による違いがあり、前処理・廃棄物は詳細に作成されたものはまだなく、文献上発表されているものを用いることとしました。

◆調査内容

期間：2023年4月17日（月）～6月16日（金）

対象：工業塗装事業者の皆様

方法：インターネット、関係者訪問による紙面回答

本紙面上ではアンケート結果の一部を説明させていただきます。

◆CO₂削減に取り組んでいるか（図1）

現時点でCO₂削減に取り組んでいるかという問いに対しては、取り組んでいない事業者が63%と半数を超えました。その理由として「今は考えていない」が大半を占めました。カーボンニュートラルへの取組みは2015年国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、日本でも2050年までにCO₂排出量を実質ゼロとする目標が宣言されるなど、サステナビリティへの意識は高まっているものの、人手や資金不足などを含め、各事業所において優先度は低い現状が明らかとなりました。

◆CO₂排出割合（図2）

工程別のCO₂排出割合調査では“塗料製造によるもの”、“電気”、“ガス”の3項目で全体の90%を占め、ライン全体の排出量が少ない事業者では塗料製造によるもの、排出量が多い事業者ではガス・電気の割合が多いなど、ライン全体の排出量により、効果的な対策は異なることが考えられました。

◆CO₂削減目標（図3）

CO₂削減目標を設定している企業の設定目標は、2025年までに50%削減から2030年までに10%削減

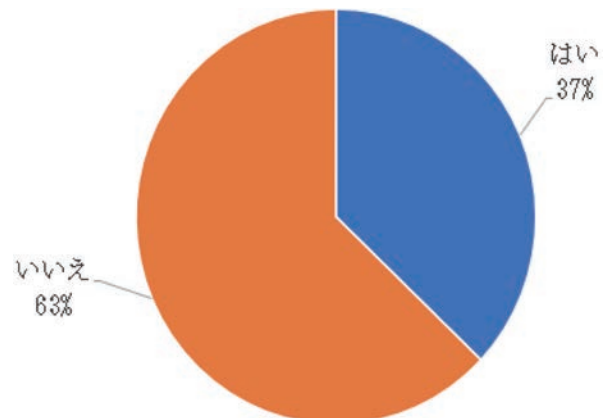


図1 CO₂削減に取り組んでいるか

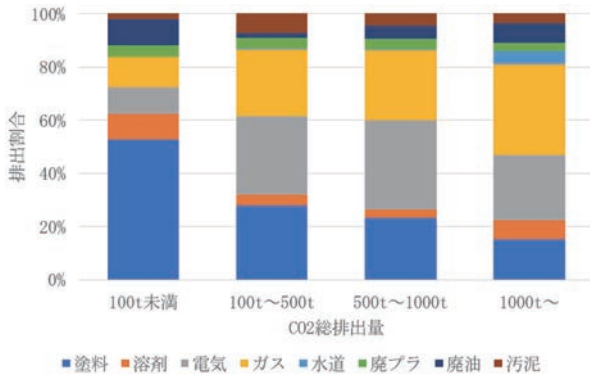


図2 CO₂ 総排出量と排出割合

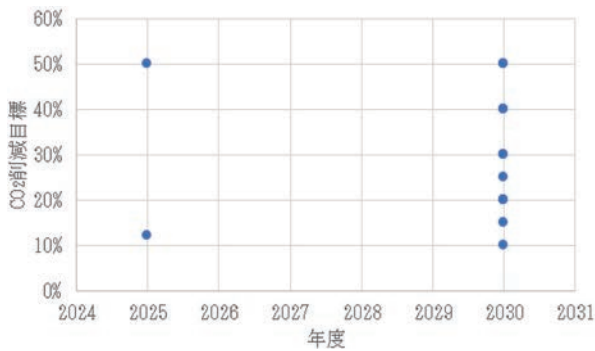


図3 CO₂ 削減目標 目標年限と目標値

まで様々でありました。

◆今後の展開

今回のアンケートにより、母数は少ないものの各工業塗装企業の実態とCO₂排出源の傾向が読み取ることができました。ここまでがステップIとなります。

ステップIIでは、アンケートによる実態調査を定期的実施し定点観測を行いながら、CO₂排出量をどのように減らしていくのか等を検討する予定としています。世界の潮流である「脱炭素」は、マテリアル、エネルギーいずれも塗料・塗装業界が直面する重要課題です。また、塗料が、すべて塗膜として使えないのは、もったいないことであり、特に工業塗装での排出や産廃部分が大きいため、実態を把握し、それをもとに塗料・塗装・塗装機器設備の改善・革新・高度化を推進していきます。

アンケート結果レポートでは巻末に塗料・塗装・機器といった着眼点の異なる3つの方向性からCO₂削減事例を紹介しているため、各社状況に合わせて取組みへのヒントとしていただければ幸いです。文末のQRコードよりご参照・ご活用ください。



CO₂ 排出量に関わる意識調査アンケート報告書



On demand powder coatings
conall[®]
 コナール

環境にやさしい、小ロット短納期、オンデマンドオーダー粉体塗料・コナール

- 1 ケース **5kg** からの指定色を製造[※]
- ご希望の色を忠実に再現
- 鮮鋭性・平滑性にすぐれ、美しい仕上がり
- 短納期

用途に応じた、豊富なラインナップ

標準タイプ	スーパーコナール	FL フッ素	屋外用最高級グレード。最高ランクの耐候性を有するフッ素樹脂粉体塗料です。
	ハイパーコナール	FH フッ素ポリエステル	屋外用高級グレード。フッ素樹脂を使いコストパフォーマンスに優れた中間グレード。
	コナール	PK 高耐候ポリエステル	1 ランク上の屋外用。耐候性と付着性のバランスが取れた使いやすい粉体塗料です。
		PU ポリエステル	一般屋外用。平滑性に優れ艶有から 3 分艶有まで調整可能です。
		PH ポリエステル	一般屋外用低温型、160°C×20分での焼付が可能です。焼付時にヤニが出ません。
		HT エポキシポリエステル	一般屋内用。強靱で鮮鋭性に優れた塗膜です。
		HL エポキシポリエステル	一般屋内用低温型、150°C×20分での焼付が可能です。
意匠性タイプ	コナール	ウェーブ	意匠性凹凸模様。溶剤系では表現できない立体的な模様で、重厚感と高級感を演出します。
		メタリック	ホーディングタイプ。溶剤系とは違うメタリックで重厚感と高級感を演出し、塗装も容易です。
		スリックスエード	新たな色彩表現となめらかな感触で商品に新しい可能性を開きます。
	コナールトーン	ハンマートーン	ハンマートーン模様。溶剤系でも長く親しまれてきたハンマートーンです。模様再現性は溶剤に比較して容易です。
		リンクルトーン	リンクル模様。縮み、チリメン、リンクルなど溶剤系でも様々な名称で親しまれてきました。粉体の模様は溶剤と比較して緻密で均一になります。
		スネークトーン	スネーク模様。リンクルトーンに似ていますが、まさに蛇革です。色を工夫することで斬新なイメージを与えることができます。
		アンティークトーン	アンティーク模様。粉体塗料独特の模様です。アンティーク、ハンビー、フラッシュトーン、ハンマートンなど様々な呼称で呼ばれています。
		キャンディトーン	カラークリヤー。発色・塗装作業性だけでなく塗膜性能にもこだわり、今までのカラークリヤーを凌駕します。
	テラトーン	テラコッタ調模様。南欧素焼風の模様も粉体塗料であれば 1 コートで再現できます。	
	チョコナ	各種	ペットボトル入粉体塗料。即日出荷の 100 色カラーバリエーション。粉体塗料をより多くの人に、より多くのものに。1 本 330gx2 本入りでオンラインショップにて販売中。

※ コナールトーンなど一部の塗料を除きます。詳しくはお問い合わせください。

- 樹脂により艶の調整範囲が異なります。詳しくはお問い合わせください。
- 模様系塗料は、塗装設備・機器の種類、膜厚、焼付条件などで模様の状態が変化する場合があります。
- メタリックは、塗装機器の種類、膜厚等により輝度やメタリック感が変わる場合があります。
- キャンディトーンは下地が透ける塗料ですので、下地の状態や膜厚により表情が変わります。



塗料・塗装資材の総合商社
 小ロット溶剤調色
 小ロット粉体製造
 塗装機器・設備のコーディネート

化学で人と自然の共生する明日へ



株式会社 三王 粉体事業所
 埼玉県草加市弁天 4-17-18
 TEL: 048-931-2001
 FAX: 048-931-2141
 www.san-oh-web.co.jp
 info@san-oh-web.co.jp

快適と信頼が

私たちの商品です。

表面処理の総合商社…



株式会社 **板通**

<http://www.itatsu.co.jp>

本社 〒326-0802 栃木県足利市旭町 553 TEL 0284(41)8181 FAX 0284(41)1250

本部 〒373-0015 群馬県太田市東新町 330 TEL 0276(25)8131 FAX 0276(25)8179

両毛支店/埼玉支店/高崎支店/小山支店/宇都宮支店/水戸支店/東北営業所

フィリピン/タイ/インドネシア/中国

横浜化成株式会社

本 社 ☎108-8388 東京都港区高輪2丁目21番43号 ☎03(5421)8266(大代)
大 阪 支 店 ☎530-0047 大阪市北区西天満5丁目1番9号 ☎06(6364)4981 (代)
千 葉 支 店 ☎263-0001 千葉市稲毛区長沼原町804番地 ☎043(259)2311 (代)
静 岡 営 業 所 ☎422-8067 静岡駿河区南町13番3号(TKビル) ☎054(282)5366 (代)

地球に優しい環境型塗装技術はこれからの優先課題です！！

地球環境に優しい次世代の塗装法 Powder Coating (粉体塗装)

「長さ 17.5m」「重量2.0t」最先端の生産環境におまかせください。

妥協を許さない信念で、高品質を保ち保ち続けます。

株式会社 明希

代表取締役会長 新井 かおる (薫) 代表取締役社長 新井 裕喜

〒675-1202 兵庫県加古川市八幡町野村字蟹草 616-44

TEL 079-438-2737 (代) FAX 079-438-2771 (代)

HP:<http://www.e-orca.net/~meiki/> Email:meiki_qa@e-orca.net



 城南コーティング株式会社

樹脂からマグネシウムまでをラインシステム化した多量生産方式を採用

新素材をコーティングする

粉体塗装

電着塗装

溶剤塗装

本社 〒142-0063 東京都品川区荏原 6-17-16 ☎03(3787)0711(代)
上里工場 〒369-0315 埼玉県児玉郡上里町大字大御堂字長久保1450の37 ☎0495(34)0801(代)
児玉工場 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄 800-9 ☎0495(72)6191(代)

ISO 9001・14001 登録企業

アックでは、塗料・塗装方法・設備・機器の提供はもちろん、塗料専門商社としての経験と知識を活かして、皆様が抱える問題に対し、環境時代に最適な「アイデア」を提案します。

環境時代が求める
エコロジカル・
ペインティングへ



お客様に「信頼と満足」を

株式会社アック

www.a-c-c.co.jp

本社/名古屋市港区十一屋2-12 〒455-0831 TEL(052)381-5599
名古屋・小牧・三河・豊川・弥富・浜松・いわき・山口・東京

塗装会社が、
風土改革コンサル
はじめましたw！

自主的**考動**を育む**製造業**による**働きがい改革**

『**T-CX**』

ツツイ式 企業風土
トランスフォーメーション

自主的に考動できない…

連携できない…

やらされ感…、他人事…

離職が多い…、採用できない…



SDGs、DX、働き方改革をスムーズに運用する為には…

【自主的考動を育むアプローチ】が有効です。

聴く

問う

伝える

待つ

【お客様の声】

- ・社員だけに変化を強いていたことに気づいた。
- ・コーチがいることで実践できるようになった。
- ・ストレス無く、充実した経営ができるようになりました。
- ・家族との関係性も劇的に改善出来ました。

詳しくは**T-CX**チラシへ！



働きがい改革とわくわくSDGsと粉体塗装のバイオニア

筒井工業株式会社

素材の付加価値を向上する

地球にやさしい粉体塗料

V-PET
Series

高意匠性シリーズ 特殊模様粉体塗料

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 サテン

落ち着いた高級感あるサテン調仕上げ

エポキシ/ポリエステル系

V-PET 特殊模様 リンクル

立体的な3分つやからグロスの凸凹模様仕上げ

パウダーフロンシリーズ ふっ素粉体塗料

ふっ素樹脂系

パウダーフロンCW

3分つや〜フルグロスまで光沢調整が可能

ふっ素樹脂系

パウダーフロンSELA

ふっ素樹脂とポリエステル樹脂の二層分離形

…彩りに優しさをそえて…
未来へつなぐ

大日本塗料株式会社

DNT
DAI NIPPON TORYO

お問い合わせは
●大阪 ☎06-6266-3134 ●東京 ☎03-5710-4505
●小牧 ☎0568-76-5578 <https://www.dnt.co.jp/>
いーないる
塗料相談室フリーダイヤル 0120-98-1716

粉体塗装のパイオニア。



独自のパルス制御で美しい仕上がりへ

新製品

Pulse Power 9000 シリーズ



Pulse Power9000S 塗料タンクモデル
Pulse Power9000TS 2丁取塗料タンクモデル
Pulse Power9000B 塗料箱モデル
Pulse Power9000TB 2丁取塗料箱モデル

東京営業 : 03-3278-4800
北関東営業所 : 028-662-7641

名古屋営業所 : 052-823-1751
大阪営業所 : 06-6386-6132

北陸出張所 : 0766-26-5131
九州営業所 : 093-631-7464



組合だより

2024年新年賀詞交歓会を開催致しました。

2024年1月26日（金）に下記会場にて、新年賀詞交歓会を開催することができましたので概略をご報告いたします。

<新年賀詞交歓会>

開催場所：第一ホテル東京 21階 「ルミエール」の間

開催時間： 16:00～17:30

ご来賓： 15名

出席者： 35名

総数： 50名

司会の立花立花が開催を宣言し、2024年1月1日に発生した能登半島地震で亡くなられて多くの方のご冥福と被災した方々へのお見舞いのため、出席者一同にて黙祷を捧げました。

その後、理事長 長谷川 智久が、ダーウィンの「最も強いものが生き残るのではなく、最も変化に敏感なものが生き残る」という言葉を引用し、我々も現在の習慣にとらわれず、新しいことにチャレンジして行きたいと新年の挨拶を行いました。



理事長 長谷川 智久

続いて、ご来賓を代表し2名の方にご挨拶を賜りました。

最初に経済産業省製造産業局素材産業課 課長補佐 井出 大志様より新年のご挨拶を賜り、産業界の現状を踏まえ、経済産業省の施策を含めご挨拶とご説明を賜りました。

お二人目として、当組合の発足当時よりお世話になっています全国中小企業団体中央会の事務局次長 佐久間一浩様よりご挨拶を賜りご来賓の挨拶を終了し、乾杯に移り日本塗装機械工業会 副会長 服部 修一様のご発声により乾杯を行いました。



材産業課 課長補佐 井出 大志様

日本塗装機械工業会副会長 服部 修一様

経済産業省 素

乾杯の後、相互の親睦を深めていただくべく、歓談の時間とご挨拶を頂戴した方以外のご来賓の方々のご紹介をさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して最初の新年賀詞交歓会でしたが、事務局の調整の不備もあり、関連団体の下部組織の新年賀詞交歓会と重複したことで、ご参加者数は予想を下回ってしまいましたが、ご多忙な折にもかかわらず50名の方にお集まりいただけたことは喜ばしいことでした。

次回この様にお集まりいただける機会は、5月21日（火）に開催を予定しております第28期の通常総会となりますので、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。



以上

-新規入会組合員のご紹介-

2024年9月に理事の承認を得て新たに当組合メンバーとしてご入会が有りましたので御紹介させていただきます。

<新規ご入会法人様情報>

法人名 : SEI SHIN株式会社
代表者 : 代表取締役社長 望月 聖之
住 所 : 静岡県静岡市駿河区弥生町2番58号
電 話 : 054-204-1100
事業内容 : 各種塗料・溶剤・化学薬品、塗装関連用品、塗装関連機器・設備の販売
工業用塗料の調色工場での製造
作業環境改善製品、抗菌・抗ウイルス関連、カーマット販売

<代表者様からのご挨拶>

この度、日本パウダーコーティング協同組合の組合員となりましたSEI SHIN株式会社の望月でございます。静清塗料株式会社としては既に組合員として微力ながら業界の発展に貢献すべく努力をしておりますが、この度はグループ会社であるSEI SHIN株式会社も組合員となり、更なる粉体塗料/塗装の拡大に貢献すべく、グループ一丸となって挑戦を続けて参りますので、今後とも皆様の変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

以下に弊社についてのご紹介をさせていただきます。

<経営理念>

PHILOSOPHY

多くの人に必要とされ多くの人に幸せをお届けする

1. Mission

世界の未来を彩る

お取引様のお力を借りながら、社会を・人を・時代を彩るお手伝いをします。

2. Vision

塗料の枠を超えた新しい価値の提供

これまでの事業（塗料、化成品、設備など）における基盤を大切にし、かつ強化しながらこれまでの事業にとらわれず、新しい目線でお取引先様ほか、多くの方に期待される価値を創造・提供してまいります。

3. Value

Challenge・Change・Chanceを軸に誠意と感謝を持って挑戦し続ける

Challenge

失敗を恐れることなく、変えることへの喜びをもって挑戦する

Change

現状にとらわれることなく、皆様の信頼と期待に応えるべく変革する

Chance

何事においても好機ととらえ、どうすれば出来るかを情熱を持って取り組む

<事業について>

弊社では、以下の4つの分野を中心に事業を展開し社会に貢献すべく努力を続けています。

1. 塗料関連事業

色彩やコスト、用途など塗料や塗装を見直すきっかけは多種多様です。

お客様のご要望をお伺いし、最適な塗料や塗装機器、塗装システム、設備・工程のご提案をさせていただきます。

2. 作業環境改善事業

作業環境や安全衛生の改善、向上を図れる製品を扱っています。

「床への漏洩を防ぎたい」「立ち仕事の疲労を軽減したい」など、お客様の不満・不安を解消いたします。現場で実際にサンプルをご利用いただき、効果を実感してから導入することも可能です。

3. 抗菌・抗ウイルス関連事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染症対策への意識が高まっています。

「安心安全な環境を提供したい/お客様の健康を守りたい」という想いから、抗菌・抗ウイルス対策をご提案させていただいております。

4. カーマツト販売事業

当社ブランド”レゴプラ”は国産カーマツトメーカーとしてお客様に喜んでいただける商品開発を行なっております。



SEISHIN株式会社
代表取締役社長 望月 聖之

表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「富士黎明」

山小屋を午前3時過ぎに出発し、夜明け前に撮影スポットに到着した。やがて、東の空が白みだし始めると富士山がくっきりと姿を現した。天空は徐々に黄金色に染まり荘厳な景色と化した（南アルプス南部「中盛山」2806mと「大沢岳」の鞍部から）。

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2024年2月13日 Vol.24 No.1

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝5-31-16 YCCビル9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌制作部

©2024 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

パウダーコーティング
二〇二四年二月十三日
定価 二〇〇〇円

ISSN 1346-6739
Vol.24 No.1

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)
東京都港区芝五丁目一六 YCCビル
制作：パウダーコーティング誌制作部